

総務文教厚生常任委員会委員長報告

令和7年12月23日

それでは、先ほど開催いたしました総務文教厚生常任委員会において、当委員会に付託されました議案1件について、審査を行いましたので、その概要と結果等について、ご報告します。補正予算書をご覧ください。

議案第83号令和7年度柳井市一般会計補正予算（第5号）についてです。

執行部から補足説明の後、委員から、物価高対応子育て応援手当について、児童手当のデータベースを活用するのにシステム改修費用が高額になっているのはなぜかという質疑に、公務員や新生児もあり、間違いなく交付するため、システム改修費用が必要になるとの答弁がございました。

また、別の委員から、買物券事業を上程する前に、物価高支援として柳井市としてどのような施策が必要かということは検討したのかという質疑に、この度の交付金は物価高騰の影響を受ける生活者等の支援が目的となっており、国の推奨メニューを参考に、可能な限り早期に実施することが求められている。市民全員に公平な支援が行われること、事業の早期実施の観点、また、食料品の物価高騰対策の加算もあることから食料品に活用できること、最後に、柳井商工会議所等からの要請もあり、市内の消費喚起の観点から、協議、検討し、買物券事業とさせていただきたいとの答弁がありました。

以上、慎重審査の結果、議案第83号は、挙手による採決により、挙手多数で原案のとおり可決と決しました。

以上で、総務文教厚生常任委員会の報告といたします。